

# :Apogee Suite 10

## プリプレスの Print4.0 を強かに推進

日本アグファ・ゲバルト株式会社（代表取締役社長：松石浩行）では、MISとJDF/CSVで連携し、自動化を実現するプリプレスワークフローソリューションの最新バージョン「Apogee Suite 10（アポジー スイート）」の販売を2017年2月1日より開始します。

インダストリー4.0は、工業のデジタル化によって21世紀の製造業の様相を根本的に変え、製造コストを大幅に削減すると言われています。アグファはインダストリー4.0をDRUPA2016のキーワードでもあったPrint4.0と捉え、印刷産業の製造プロセスの更なる効率化を推進します。2017年2月1日より販売開始するApogee Suite 10※1は、工場の生産性を高め、プリプレスの自動化を更に高めます。印刷物の多品種・小ロット化が進む中、これからの印刷会社にとって今まで以上に大きな課題となる製造の効率化、入稿されるさまざまなPDFファイルバージョンの対応を高速、且つ、正確に処理することが可能です。また、Apogee Suite 10は、従来バージョン9と比較してApogee Prepressのパフォーマンスを2倍以上に向上し、更なる安定性、処理速度の向上を実現しました。Apogee Suite 10は、Prepress（プリプレス）、Portal（ポータル）、StoreFront（ストアフロント）、Color（カラー）に加え、新たなクラウド製品である“Apogee Drive（アポジー・ドライブ）”※2の5つのプロダクションで構成されたワークフローソリューションです。多様なユーザーニーズに対応するモジュール設計をコンセプトとして、エントリーレベルからハイエンドまで柔軟に対応し、さらに、クラウド技術によるプリプレスのPrint4.0を強かに推進します。

※1. Apogee Suite 10は、Apogee Cloudおよび従来のサーバー導入型のいずれも提供可能

※2. Apogee Driveは、2017年第二四半期リリース予定

### 【APOGEE Prepress 10】プリプレスを革新する JDF ベースプリプレスワークフロー

APOGEE Prepress 10はMIS連携から、PDF 自動検査&修正、Web 入稿・校正、自動面付け、ギャンギング、カラーマネージメントプルーフ、CTP 出力、多目的PDFの出力、様々なデジタル印刷と連携した出力まで徹底的に効率化され、クラウド環境にマッチしたプロフェッショナルワークフローを実現します。

#### APOGEE Prepress 10 の主な特長

- Adobe PDF Print Engine 4 を搭載  
Adobe Creative Cloud(2017)に対応。
- 自動面付  
テンプレートを必要としない自動面付を提供し、印刷会社で日々使用されている作業伝票との連携を実現。
- 面付け機能の強化

目的に合わせて折の開始番号をユニークに制御し、プレートやブルーフ出力のデバイスに合わせたマーク管理機能を搭載。

- 高度な自動化  
2つのプリフライトエンジン機能によるデータ検査と修正、台割、RIP、出力の各部分を制御可能。全体進行の自動化を実現したユーザーインターフェイスを提供。
- Raster Impose (ラスター・インポーズ)  
ラスター・インポーズは、ページと面付けを独立して RIP 処理することで、混在する PDF のバージョンの処理に対応した新機能。Apogee Prepress の独自技術により、ページ単位の差し替えも修正したページのみでの RIP 処理が可能となり、面付け台紙の再 RIP 処理が不要。瞬発力のあるプレート出力が実現し、高い生産性を維持します。
- 超高速 RIP 済みアミ点プレビュー  
RIP 済み実データをモニタ上で高速にプレビュー確認。分版、折丁の表裏確認など、確実なモニタ検版を実現。
- 高精細スクリーニング  
Apogee Prepress ユーザーの 90%以上が導入している、成功率 100%！誰でも刷れる簡単高精細スクリーニング「Sublima」を 340lpi までラインアップ。
- MIS インテグレーション (JDF/CSV による連携)  
受注管理システム (MIS) に接続することで更なる効率化/自動化を実現し、業務改善を強力に推進。カスタマイズされた印刷会社の MIS との連携にも対応。
- デジタル印刷機と連携  
Apogee からデジタル印刷機をダイレクトに接続し、後加工のフィニッシングをコントロール可能。新たに対応メーカーや機種もラインアップされ、オフセットとデジタルのワークフローを融合します。

## APOGEE Impose ～「面付革命」インテリジェントな面付け機能～

多くの印刷会社から高い評価を受けている革命的な面付け機能「Apogee Impose (アポジー・インポーズ)」を搭載しています。Apogee Imposeは従来の面付けソフトウェアのようなテンプレートと言った「ひな型」はいっさい使わず、条件に合わせてその場で面付けを作成する画期的でインテリジェントな発想に基づき開発された面付け機能です。

印刷機や用紙等の条件を指定するだけで予め定義しておいた各社のルールに基づいて最適な面付けを自動で生成します。一旦面付けが済んだジョブに対しても印刷機や用紙の条件を変更するだけの簡単な操作で瞬時に自動で面付けを組み替える事ができます。急な印刷機の変更にも柔軟に対応し、高額投資した印刷機を効率良く運用することができるため、印刷工場の画期的な合理化が実現できます。

更に今まで専任の面付け担当者のスキルに頼っていた面付け作業を「誰もがができる」という「多能工化」することにより、面付けの効率が飛躍的に向上し、日々の作業のバックアップ体制、将来に向けた同レベルの人材の育成という今後の印刷会社にはとっての大きな課題も解決します。

### <アポジーインポーズの革命的特長>

- 製品仕上がり情報、印刷機情報等の条件入力のみで自動面付けを実行
- 折の開始番号を任意で入力可能となり、背丁や背票に自動で反映
- 反転印刷機の吸引車 (センターコロ) に対応
- 糊付け条件が追加され、ノックアウト処理を簡易化

- ジョブマージ機能による絞込み条件の指定が可能
- 面付けテンプレートの作成・管理は一切不要
- 面付けルールをデータベース化しミスを防止
- 直感的でわかりやすいユーザーインターフェイスを採用
- 複数オペレーターの同時作業が可能
- 印刷機・用紙の変更にも瞬時に面付けを組み替え対応
- 端物面付け／多丁づけ／大貼りにも柔軟に対応
- 輪転印刷機特有の面付けにも対応
- POD 用面付けや束見本作成にも簡単に対応
- プレート、プルーフの用途に合わせたマーク管理機能を搭載
- MIS と連携したオートギャングングに対応

## 【Apogee Color 10】 簡単管理・高精度カラーマネージメントプルーフ

Apogee Color 10はApogee Prepressと共存し、印刷会社に必要となるカラーマネージメントを強化する仕組みです。また、Apogee Cloudに対応し、プリプレスワークフローと連動したカラーマネージメントとROOM (Rip once output many) コンセプトをクラウドネットワーク環境で提供し、高精度のコントラストブルーファアを実現します。

### Apogee Color 10 の主な特長

- Apogee Prepress と共存したカラーマネージメント機能  
ブルーファア専用のソフト、ハードウェアを必要としない一元管理を実現。
- ICC プロファイルの生成と登録を自動化  
プリンタ機種や測色機に合わせた専用チャートを自動生成し、ICC プロファイルを自動作成。
- 自動メンテナンス  
任意にメンテナンススケジュールを設定することでターゲットとなるカラーの再現変化を自動で修正。
- 特色のカラーマネージメントに対応  
測色機と連動したターゲットプロファイルの $\Delta E$  (色差) を自動計算し、特色の再現性を向上。
- Apogee Color 対応機種  
従来のモデルから新たに EPSON SC-P シリーズの G モデルと V モデルに対応。(自動測色オプション含む)。

## 【Apogee Webapproval 10】 ウェブ経由での入稿・承認ソリューション

Apogee Webapproval 10はApogee PortalのモジュールでApogee Prepressと共存し、印刷会社とクライアントのコミュニケーションとコラボレーションの強化を実現する仕組みです。プリプレスワークフローと連動したWeb 経由での入稿・承認により、生産性の向上、短納期への対応、営業コストの改善を可能とします。

### Apogee Webapproval 10 の主な特長

- HTML5 に対応

- Java や Flash などの専用プラグインは不要。
- Apogee プリフライト機能と連動  
Apogee Prepress のプリフライトエンジンに対応し、プリフライトレポートを提供。
  - モバイルタブレットに対応  
iPad などのタブレットに対応し、標準のブラウザ経由でモバイル校正が可能。
  - シンプルログイン機能  
メールアドレスによるログインが可能。
  - インターフェイスの改善  
Web 校正により適したシンプルなインターフェイスを提供。
  - MIS インテグレーション (JDF/CSV による連携)  
受注管理システム (MIS) に接続することで Web 校正のジョブ作成を自動化し、プリプレスの無人化を推進。

## 【Apogee StoreFront 3.5】クラウド型オンラインストア

Apogee StoreFront 3.5はアグファのクラウドベースソリューションApogee Cloudのモジュールで、クライアントと印刷会社のコミュニケーションとコラボレーション強化を実現するオンラインストアです。プリプレスワークフローやワイドフォーマットと連動したWeb 経由での見積・入稿・校正・オーダーにより、受注活動に関わるビジネスワークフローとプロダクションワークフローを向上し、短納期への対応、営業コストの改善を可能とした全体最適化を推進します。

### Apogee StoreFront 3.5 の主な特長

- ウェブストア作成機能  
パブリックストア（一般公開）とプライベートストア（特定公開）作成。
- ウェブストアのデザイン機能  
インターネット公開するストアのデザインツールを搭載し、ストアのカスタマイズに対応。
- ファイルアップロード機能  
登録した商品毎に対応した、アップロードファイルのフォーマットが選択可能。
- 入稿データのプリフライト機能  
代表的なプリフライトを実装（RGB チェック、画像解像度、フォントの有無、ドキュメントサイズなど）
- オンラインエディタ機能  
Adobe ® InDesign サーバーを搭載し、デザインテンプレートから Web 上で編集が可能。
- バリアブル編集機能  
デザインテンプレート機能と連動し、Excel で作成したテキスト情報と連動。
- プレビュー機能  
プリフライトチェックの結果やバリアブル処理後のプレビュー確認。
- 既存 MIS との連携  
印刷会社の仕様に合わせた項目の抽出や受注伝票と連携。
- Apogee Prepress や Asanti（ワイドフォーマット対応ワークフロー）と連携  
受注情報を JDF 形式で Apogee ヘダイレクト送信し、ジョブの自動生成や出力を実現。

## 【Apogee Drive】クラウド型拡張オンラインストレージ

Apogee DriveはアグファのクラウドベースソリューションApogee Cloudのモジュールで、2つの運用フローを提供します。日々の業務の中で、制作工程や下版に関わるデータの受け渡しは頻繁に行われ、履歴やバージョンの管理が複雑になります。その様な課題を解決し、データ間に発生するコミュニケーションを円滑に支援し、Apogee PrepressやAsantiと連動したWeb 経由でのファイル送受信・ファイルのバージョン管理が可能です。また、Apogee Prepressのバックアップ機能として、在版管理、システムのデータベースをバックアップする拡張機能としても提供します。

※Apogee Driveは、2017年第二四半期リリース予定

## :Apogee Suite 10

**販売開始日：** 2017年2月1日

**希望小売価格：** システム構成、オプションにより異なります。

日本アグファ・ゲバルト株式会社までお問い合わせ下さい。

### アグファについて

アグファ・ゲバルト グループ(本社:ベルギー、モーツェル)は、世界有数のイメージングメーカーであり、グループの2014年の全世界売上高は26億2400万Euro(ユーロ)となっています。印刷業界および医療用の写真・デジタル画像システム、などの各事業を展開しています。アグファのグラフィックシステム製品としては、プリプレス工程で必要とされる各種フィルム、ペーパー、刷版、ケミカル、自動現像機を始め、カラーマネージメントシステム、CTPシステム、ワークフローシステム、インクジェットプリンタ、インクに至る総合デジタルソリューションが含まれています。アグファは世界40の国と地域に支社を置き、100カ国以上でグローバルに展開しています。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先:

日本アグファ・ゲバルト株式会社 グラフィック システム事業部

マーケティングコミュニケーション部 大岡 晶

電話 : 03 (6420) 2010 FAX : 03 (6420) 2011